

# 林木遺伝資源情報

創刊号 - 3 2002.2  
独立行政法人 林木育種センター



国指定天然記念物の樹木の収集保存シリーズ No. 1

## 国指定天然記念物の樹木の収集保存シリーズを始めるにあたって

林木育種センター 遺伝資源部 藤原昭博

### 1 はじめに

文化財保護法により国が指定している天然記念物の樹木は、全国で樹林等を含め470件あります。これらの樹木は、銘木、巨樹、老樹、代表的な植物群落、特異な形態、分布の限界地、絶滅に瀕しているなど学術上貴重なものとして現地で保存されています。林木育種センターは、これら天然記念物の樹木を遺伝資源として活用するため、1993年から広範な樹種を対象に生息域外保存する事業を実施してきました。2001年3月末現在で、133件を増殖保存しています(表-1)。

本シリーズは、各地域での天然記念物の収集保存の現況と、特徴、増殖等の収集保存作業に関わるエピソードなどを紹介していきます。今回は、全国にわたる天然記念物の収集保存の概要を以下に紹介します。

### 2 進捗状況

一般に、天然記念物の収集保存は、原木から穂木の収集、収集した穂木をつぎ木やさし木によりクローン増殖、クローン苗木を育成、育成された苗木を場内の保存園に植栽という工程を経て行います。

表-1に国指定天然記念物の保存の進捗状況を示しました。かなり以前のことですが1966年から、長命であるスギやマツの天然記念物を各種の抵抗性を有するものとして捉え、スギ49件、イチヨウなど12件、合計61件を収集・増殖し、47件を保存しています。1993年から林木のジーンバンク事業の一環として、本格的に天然記念物の収集保存を開始し、2001年までに192件を収集・増殖し、86件を保存するに至りました。以前の保存と合わせ、133件を保存しています。現在まだ77件が増殖中であり、

表-1 国指定天然記念物の保存の進捗状況

| 1992年以前<br>保存済みの<br>現存件数 | 1993年以降 |            |            | 合計保存<br>済み件数 |
|--------------------------|---------|------------|------------|--------------|
|                          | 収集件数    | 増殖中の<br>件数 | 保存済み<br>件数 |              |
| 47                       | 192     | 77         | 86         | 133          |

2001年3月末現在

表-2 国指定天然記念物の樹種別保存件数

| 樹種             | 保存件数 |
|----------------|------|
| アカマツ           | 1    |
| イチヨウ           | 19   |
| ウツクシマツ         | 1    |
| ウメ             | 2    |
| エドヒガン          | 2    |
| エドヒガンとヤマザクラの雑種 | 1    |
| オオシマザクラ        | 1    |
| オオヤマザクラ        | 1    |
| カツラ            | 5    |
| カヤ             | 2    |
| キャラボク          | 2    |
| クスノキ           | 6    |
| クチナシ           | 1    |
| クリ             | 2    |
| クワ             | 1    |
| ケヤキ            | 16   |
| コウライタチバナ       | 1    |
| コミカン           | 1    |
| ゴヨウマツ          | 1    |
| サワラ            | 1    |
| シイノキ           | 1    |
| シロヤマザクラ        | 2    |
| スギ             | 45   |
| センダン           | 1    |
| ソテツ            | 1    |
| トチノキ           | 3    |
| ナギ             | 1    |
| ナシ             | 1    |
| ハナノキ           | 2    |
| ハリモミ           | 1    |
| ビャクシン          | 3    |
| ビゼンマユミ         | 1    |
| フジ             | 4    |
| ヤマザクラ          | 1    |
| 計              | 134  |

2001年3月末現在

注：諫早市城山暖地性樹叢からビゼンマユミ及びクスノキの2樹種から収集保存しており、総件数は1件多くなっています。

順次場内の保存園に植栽し保存されることとなります。また、表-2に樹種別の保存件数を示しました。樹種別に多いものから順にスギ45件、イチヨウ19件、ケヤキ16件、クスノキ6件、カツラ5件とあり、合計34樹種が保存されています。樹種ごとの指定件数に比較し、保存件数の比較的多いのがケヤキで、少ないのがカヤとクスノキです。

収集保存した代表的な国指定天然記念物

1. 巨樹・巨木

[東根の大ケヤキ]

国指定特別天然記念物

山形県東根市東根、東根小学校内



幹 周 12.6m  
樹 高 28m  
樹齡伝承 1000年以上  
古くから山梨県の「三恵の大ゲヤキ」、群馬県の「原町の大ゲヤキ」とともに、三大ケヤキと呼ばれ、全国にその名を知られています。

東北育種場でクローンを保存。

[牛島のフジ]

国指定特別天然記念物

埼玉県春日部市牛島



根元周囲 約4m  
藤棚の大きさ  
東西34m  
南北17m  
推定樹齡 1200年  
日本最大のフジ。  
センター本所でクローンを保存。

2. 特異な形態(変種)

[上沢寺のオハツキイチョウ]

国指定天然記念物

山梨県南巨摩郡身延町下山 上沢寺



幹 周 6.8m  
樹 高 38.0m  
樹齡伝承 700年  
オハツキの出現割合は、イチョウの中でももっとも高いと言われています。

センター本所でクローンを保存。

3. 希少種の群落

[坂本のハナノキ自生地]

国指定天然記念物

岐阜県中津川市千旦林、中学校近くの湿地



樹高 25m 幹周 2m  
前後の木をはじめとして、多くのハナノキが生育しています。林木育種センターでは、湿地の減少等により絶滅の恐れ

のある各地のハナノキ集団の保全・管理に役立つため、DNAマーカ等を用いて遺伝的多様性の評価を行う予定です。

センター本所でクローンを保存。



4. 分布の南限の群落

[大山のダイセンキャラボク純林]

国指定特別天然記念物

鳥取県西伯郡大山町



大山の8合目(標高1,600m)を過ぎたなだらかな斜面に、日本最大の大群落を形成しています。ほぼキャラボク分布の南限にあたります。

関西育種場で多くのクローンを保存。